

先輩職員の声



身体障害者福祉センター
安東 竜成 (20代)
入社：令和4年

Q1.今の業務内容は？

障がいのある方を対象にスポーツ教室、大会の企画や運営、またセンター主催のイベント(あすぴあフェスタ)や障がいに関することをテーマとした研修会の開催などを担当しています。

Q2.嬉しかったこと、印象に残っていることは？

教室に参加した方が「楽しかった」と笑顔で帰られたり、参加者の技術が上達していく様子を見ると、自分の仕事にやりがいを感じます。また、重度の障がいがあってスポーツや文化活動に参加する姿を見ると感激します。



Q3.大分県社協を志した理由は？

大学のゼミで、地域や地縁組織が衰退していく課題を解決するために、新しいコミュニティを形成する活動を行っていました。その中で地域を結びつけるために重要なのは、人と人、地域と地域をつなぐ制度づくりであると考え、よりマクロレベルの実践ができる大分県社協を志望しました。



Q4.職場の雰囲気はどんな感じ？

明るく、楽しい、アットホームな職場です。入職後はメンターと呼ばれる先輩職員が1人ずつに付いてくれて、相談ができるため職場に馴染みやすいです。

Q5.大分県社協でのやりがいは？

県内、県外の方々と関わる機会があり、様々なことが学べる職場だと感じています。

また県単位での広域的な活動が主であるため、コミュニティ、組織、そして社会全体での社会変革をすることができます。



みなさんへmessage

公的機関も含め、いろいろな団体と協力し、誰もが住みよい地域づくりを実践できることが大分県社会福祉協議会の魅力です。

大分県の福祉を盛り上げたい！という意欲のある方、ぜひ一緒に働きましょう！